

学校だより

令和6年度 第7号

東京都立小金井特別支援学校 令和6年9月30日



非日常の経験と予告

校長 中島 雄佑

2学期が始まり、9月の第2週目の中学部3年修学旅行を皮切りに、校外での学習が次々と実施されています。日常とは違う非日常を共有することで、先生たちと子供たちの絆が深まったり、子供たちが新たな力を獲得したりできます。苦手な人もいますが、大人になるための必要なスパイスです。日本中の同じ世代の子供たちが経験することは、本校の子供たちにも経験させることが必要であると強く思っています。

さて、何回かお話ししてきました、令和7年度に向けた「大幅な教育課程の見直し」について骨格が出来上がってきました。保護者の皆様には12月の保護者会で具体的にお示しいたします。その中で、今回の第2回PTA運営委員会である程度のお話しいたします。運営委員会だよりに校長からの挨拶文を掲載していただきますのでお知りおきください。現在は2学期に行事が集中したり、コロナ禍で工夫した方法がそのままだったり、もっと合理化することで平常授業を確保し、ゆっくりじっくり学べるようにすることを目指しています。このことは働き方改革にもつながり、教員になりたいと思う方を増やすことにもつながっていきます。どうか皆様の御理解と御協力をお願いします。

もう一つ、スクールバスの安全運行の取り組みについて御報告します。間もなく配付します「スクールバスだより」で詳しく紹介しますが、丸大観光株式会社の夏季研修会を校長が視察いたしました。100人を超える社員の皆様が、真剣に研修をしている姿を見てまいりました。学校も9月5日に定例会を開催し研修を行いました。安全運行の取り組みを一つ一つ着実に実行しています。

9月の行事

中学部主任 落合 敦子

9月は、中学部の各学年で校外行事があり、慌ただしい月でした。夏休みが明けて早々に3年生の修学旅行が行われ、11日から2泊3日で那須方面に行ってきました。昨年以上に残暑の厳しい3日間で午後には雷雨があり、少し予定を変更することがありましたが元気に行ってくることができました。名産のゆばや餃子の昼食、りんどう湖ファミリー牧場ではバター作り体験をしました。翌週の20日には、1年生が校外学習で所沢航空記念公園に行きました。気温差の激しい時期で残念ながら2名ほど欠席者はありませんでしたが、いろいろな飛行機やシミュレータの体験などをすることができました。26日からは、2年生が1泊2日で河口湖方面に行ってきました。富士山の五合目を散策し、その郵便局からはがきを出しました。下界と違った空気をいっぱい吸って行うことができました。これから3階の廊下には、各行事の報告が飾られ、お互いの行事を知り合う場となることでしょう。

本校では、サービス事故防止のため、令和6年度のスローガンを下記のとおり決めました。職員一丸となり、サービス事故「0」に向けて取り組んでまいります。

「学校は 子供の心の拠り所 笑顔と未来を守る場所」